

「おいさと笑顔がつどうみなとまち塩竈」を体感！ みなと塩竈・ゆめ博〜海〜

10月に開催される「みなと塩竈・ゆめ博」では、これまでのおのの開催されていたイベントを短期間に集中させ、塩竈の魅力や楽しみ方をPRします。

「海」「食・物産」「歴史・文化」の各部門が企画するイベントや、物産品などの販売を行う「地域復興連携市ゆめ博・絆広場」のほか、さまざまな体験イベントやまち歩きを企画し、塩竈の魅力を発信します。

今月号では、「海」のイベントにスポットを当て、ご紹介します。



(上) 千賀の浦でのカヌー体験乗船
(中) 松島湾での釣り
(下) 桂島でのアマモの花枝(種)採取会

メインイベント

巡視船や訓練の公開(計画中)

サブイベント

ナイト寿司クルージング
ガイド付き浦戸クルーズ
ジギングバトルルアー釣り大会
君も船長! ポートキャプテン体験
アマモの移植会
東北ドック鉄工機のクレーンのライトアップ など



「海」部会 副部長
鈴木 雅博さん
(株)くろしお代表取締役

塩竈出身でも海に触れずに大人になる人が多いと思います。

そこで、「海」のイベントの一つである、「君も船長! ポートキャプテン体験」では、免許がなくても操縦ができる区域で、実際に操縦をしてみたいです。ポートならではの目線の低さや爽快感など、遊覧船との違いを楽しんでもらいたいです。

「みなと塩竈・ゆめ博」ではさまざまな形で「海」に触れるイベントを企画しています。「塩竈に来れば海を身近に体験できる」と思ってもらえたらいいですね。

問 塩釜商工会議所 ☎367-5111

景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

校章にもなっている「塩竈の水辺景観」

浦戸を除く市内小中学校の校章は、塩竈桜をモチーフとしていますが、玉川中学校の校章は異なっているのをご存じですか。

6つの黒点は「六玉川」を、後方の黒大丸は「野田の玉川」を表し、さらに6枚の花びらは白菊を意味しているそうです。

「六玉川」とは、野田の玉川(塩竈市)、井手の玉川(京都府)、野路の玉川(滋賀県)、高野の玉川(和歌山県)、調布の玉川(東京都)、玉川の里(大阪府)という、歌枕で有名な全国6カ所の「玉川」の総称です。

その一つである「野田の玉川」は、母子沢

から多賀城市の砂押川に至り、噴水玉のごとく飛散してわき出ることが名の由来といわれています。

元禄2(1689)年5月8日、松尾芭蕉は「野田の玉川」のほとりに佇み、末の松山への道を歩いていきました。また、玉川一丁目には、能因法師の「夕されば潮風越してみちのくの野田の玉川千鳥鳴くなり」の歌を刻んだ「野田の玉川の碑」と祠があり、往時をしのぶことができます。

現在はコンクリートの水路ですが、由緒あるものと分かると、誇りや愛着がわいてきませんか。

【参考文献：塩竈市史本篇Ⅰ・資料編Ⅰ、塩竈市の文化財ガイド】



◀左) 玉川中学校の校章
右) 野田の玉川の碑

問 都市計画課まちづくり推進係 ☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.6.30現在

住民基本台帳調べ (前月比)
人口 55,694人 (-20人)
男 26,587人 (-7人)
女 29,107人 (-13人)
世帯数 23,006戸 (+11戸)